

日本の社会人に聞いた「Why Japanese People ! ?」

3人に1人が、職場に対して「Why ! ?」
日本の「政治」、日本人の「集団心理」に、「Why ! ?」

アメリカ出身の芸人・厚切りジェイソンが、日本や日本人のおかしな習性・習慣などを、おもしろおかしく、時に辛辣に「Why Japanese People ! ?」と叫ぶネタは一躍大流行となった。そのなかには、日本人自身も気づかされる内容も多いのではないだろうか。新生活がスタートした今、日本の社会人が思う「Why Japanese People ! ?」は何だろう。

今回、オウチーノ総研(株式会社オウチーノ/本社:東京都港区/代表:井端純一)は、首都圏在住で20歳~59歳の就労中の男女1,721名を対象に、『日本』に関するアンケート調査を行った。まず、「新入社員・若手社員、先輩社員・お局社員、会社に対して不満を感じることはありますか?」という質問をした。結果、「新入社員・若手社員に対してある」が21.6%、「先輩社員・お局社員に対してある」が18.4%、「会社に対してある」が19.9%、「特になし」が64.7%だった。次に、「日本や日本人に対して不満を感じることはありますか?」と聞いたところ、「日本に対してある」が22.4%、「日本人に対してある」が21.0%、「特になし」が68.6%だった。

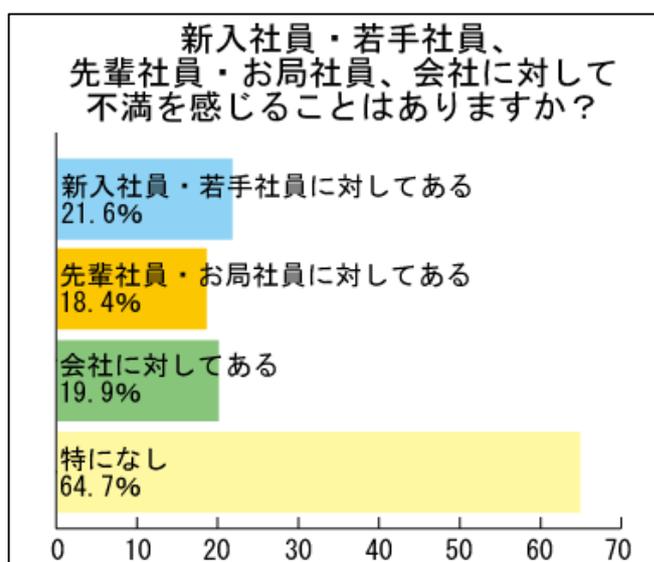
■調査概要

有効回答	首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)在住で20歳~59歳の就労中の男女1,721名
調査方法	インターネットによるアンケート調査
調査期間	2016年4月11日(月)~4月13日(水)

1. 3人に1人が、職場に対して「Why ! ?」

まず、「新入社員・若手社員、先輩社員・お局社員、会社に対して不満を感じることはありますか?」という質問をした。結果、「新入社員・若手社員に対してある」が21.6%、「先輩社員・お局社員に対してある」が18.4%、「会社に対してある」が19.9%、「特になし」が64.7%だった。

「Why ! ?」と思う内容を聞いた。「新入社員・若手社員」に対しては第1位「言葉遣い」、第2位「常識がない」、第3位「挨拶をしない」、第4位「常に受身でいる・欲がない」、第5位「自分勝手・マイペース」が並んだ。「言葉遣い」では具体的に、「敬語が使えない」(28歳/女性)や「社内で共通して使われている用語ではなく、以前のバイト用語をずっと使用し続けること」(32歳/女性)、「言葉のなかに自然とタメ口が入っているが、本人は気がついていない」(48歳/男性)などの不満が挙がった。「常識がない」では、例えば「LINEで退職の意向がくる」(37歳/女性)や「書類にサインする時に消えるボールペンを使っていた」(26歳/男性)などの声が聞



かれた。「常に受身でいる・欲がない」では、「マニュアルに頼りすぎ、自分の仕事を狭く捉えがち」(49歳/女性)や「こちらから指示しないと行動しないことが多い」(55歳/男性)などが具体的に挙がった。

「先輩社員・お局社員」に対して最も多かったのが「仕事をしない・押しつける」。次いで第2位「昔ながらのルール・しきたり」、第3位「理不尽・パワハラ」、第4位「自分勝手・自己中心的」、第5位「後輩に対する態度」が挙がった。「仕事をしない・押しつける」については、「仕事を選び好みする」(55歳/男性)や「義務を果たさずに権利を主張すること」(43歳/女性)などといった不満が挙がった。「昔ながらのルール・しきたり」では具体的に「『〇〇課はこのゴミ箱を使ってはダメ』など、変なルールを強要してくる」(28歳/女性)や「お土産の配り方に対してとても厳しい」(29歳/女性)、「昔からこうしているからと、新しいことを考慮しようとしめない」(38歳/女性)などが挙がった。「理不尽・パワハラ」に関しては、「時間も環境も私物化している」(34歳/女性)や「自分の都合で飲み会を仕切る」(34歳/男性)、「体育会系のノリで無茶を言うてる」(50歳/女性)などの声が聞かれた。

「会社」に対しては、第1位「労働時間・休暇」、第2位「人事・評価」、第3位「無駄な規則・慣習」、第4位「給与」、第5位「風通しが悪い」が並んだ。「労働時間・休暇」については、「スキルよりも残業時間を評価すること」(27歳/女性)、「有休を使えない風潮」(25歳/女性)、「有休を取ると細かく詳細を聞かれる」(40歳/女性)などの不満が挙がった。「人事・評価」については具体的に、「きちんと仕事している人としていない人の評価基準が曖昧」(43歳/男性)や「人事異動・人員配置がおかしい」(50歳/女性)、「現場の意見を無視した人事異動」(32歳/女性)などが挙がった。「無駄な規則・慣習」では、例えば「朝礼が形骸化していること」(33歳/男性)や「無駄な書類が多い。もっとペーパーレス化できるはず」(42歳/女性)、「WEBの勤怠表があるにも関わらず印鑑と手書きの出勤簿を使っていること」(45歳/男性)などの声が聞かれた。

新入社員・若手社員のここが不満!		先輩社員・お局社員のここが不満!		会社のここが不満!	
順位		順位		順位	
1位	言葉遣い	1位	仕事をしない・押しつける	1位	労働時間・休暇
2位	常識がない	2位	昔ながらのルール・しきたり	2位	人事・評価
3位	挨拶をしない	3位	理不尽・パワハラ	3位	無駄な規則・慣習
4位	常に受身でいる・欲がない	4位	自分勝手・自己中心的	4位	給与
5位	自分勝手・マイペース	5位	後輩に対する態度	5位	風通しが悪い
6位	礼儀がない	6位	責任を持たない	6位	方向性
7位	身なり	7位	上から目線・常に偉そうな態度	7位	従業員を大切にしない
8位	人の話を聞かない・質問をしない	8位	労基法を無視した勤務	8位	パワハラ
9位	仕事をしない	9位	仕事ができない	9位	費用の無駄使い
10位	すぐにへこたれる	10位	自分が若い頃の話	10位	男尊女卑

2. 日本の「政治」に、日本人の「集団心理」に、「Why!？」

次に、「日本や日本人に対して不満を感じることはありますか?」と聞いたところ、「日本に対してある」が 22.4%、「日本人に対してある」が 21.0%、「特になし」が 68.6%だった。

その具体的な内容を聞いたところ、「日本に対してある」では「政治」が第1位。次いで第2位「政治家」、第3位「外交」、第4位「税金」、第5位「国債」という結果だった。

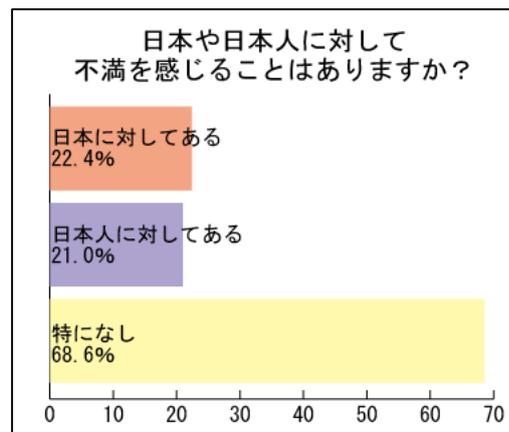
「政治」については、「国民を考えた政治がなされていない」(56歳/男性)や「目先の利益に目がいき、長期的な展望からの方針を打ち出していない」(49歳/男性)、「国際化や外国人旅行者増を叫びながら、なぜ法整備をしないのか」(36歳/男性)、「子どもを産めるような体制がいつまでたっても整わないこと」(43歳/女性)などの不満が挙げられた。次ぐ「政治家」については、「貧乏経験のある政治家がいないこと」(44歳/女性)や「なぜあんなに国会議員の数が多いのか」(28歳/男性)などの声が聞かれた。「外交」に関しては、「他国に対して自己主張が足りない」(49歳/男性)や「外交能力が低い」(42歳/女性)などが挙げられた。

「日本人に対してある」の第1位は「集団心理」、第2位「本音と建前」、第3位「内向的・遠慮がち」、第4位「マナーが悪い」、第5位「働き過ぎ」だった。「集団心理」という声は全年代から最も多く挙げられた。具体的には「同調圧力が強く、違いを認められない」(28歳/男性)や「いつも横並び、他人と一緒に良いと思うこと」(51歳/女性)、「おかしいと思っても周りを気にして同じ行動をしようとするのは変だと思う」(39歳/女性)などの声が挙げられた。「本音と建前」では例えば「思ったことを素直に言うと、嫌な顔をする」(39歳/女性)や「SNSでの自己主張はできるのに、対面だと何も言わない人が多い」(41歳/女性)などが聞かれた。「内向的・遠慮がち」という声からは「何に対しても遠慮しがち、迎合しがちなこと」(30歳/女性)、「例えば並んでいるところに割り込んできても、文句を言わない人が多いこと」(52歳/女性)などが挙げられた。他には、「政治に対して興味・関心がない、長いものには巻かれる体質」(29歳/男性)などの声が聞かれた。

今回のアンケートを通して、社会人の3人に1人が、職場や日本・日本人に対して「Why!？」と思っていることが分かった。

オウチーノ de ヨムーノ:

<http://www.o-uccino.jp/article/archive/trend/20160426-souken/>



日本のここが不満!	
順位	
1位	政治
2位	政治家
3位	外交
4位	税金
5位	国債
6位	社会的弱者への対応
7位	マスコミ
8位	労働環境
9位	遠慮がち
10位	同族意識
日本人のここが不満!	
順位	
1位	集団心理
2位	本音と建前
3位	内向的・遠慮がち
4位	マナーが悪い
5位	働き過ぎ
6位	メディアや流行への反応
7位	政治に無関心
8位	頭がかたい
9位	謝罪しすぎ
10位	愛国心がない